

2020年6月15日

高野 文夫 NPO日本プレゼンテーション協会理事長

1、オンライン研修が対面集合研修以上に優れている12のポイント

感染症対策から、リアル研修（集合型研修）の実施が延期され、オンラインでの研修に切り替える企業が増えています。そんな中、オンラインでの研修に対してこんな不安も聞かれます。

- ① リアル研修同様の効果が得られるのだろうか？
- ② 双方向のディスカッションはどうやるのだろうか？
- ③ 高度なIT能力が必要なのではないか？
- ④ 受講生の意見をどのように集められるのか？
- ⑤ 班に分かれてのワークショップができるのか？

しかし、世界レベルでは今回の感染症対策以前から、オンラインでの研修が盛んに行われております。今に始まった方法ではないのです。私も10年前の2010年から、ライブカレッジというオンライン研修をスタートしていました。



ライブカレッジでは、10種以上のコミュニケーション研修をスタートしましたが、主なセミナー講座は、①ファシリテーション ②プレゼンテーション ③ネゴシエーション ④営業マン能力アップ研修などでした。

そのような経験から得た知識ですが、オンライン研修はいったいどんなメリットがあるのだろうかを中心にそのメリットをまとめてみました。

オンライン研修とバーチャル研修の違いは？

本論に入る前に、用語の定義を行います。オンライン研修が注目を集めている中で「バーチャル研修」「Eラーニング」「スモールラーニング」など様々な用語の混乱が見られる場面が少なくないので、それぞれの用語について、以下に簡単に定義いたします。

オンライン研修：パソコンなどを使ってインターネットを介して行うすべての研修・学習を指します。

バーチャル（集合）研修：オンライン上でリアルタイムに受講者が集まる参加型の研修です。Eラーニングやライブ配信のことだと誤解している方が少なからずいますが、そうではなく、双方向講義、対話、演習等も活用した、リアルに集合する対面（オフライン）研修とかなり近いものとなります。

Eラーニング(electric learning)：ITを用いて行う学習、研修を指します。したがって広義にはオンライン研修と同義語に捉えられがちです。

バーチャル研修と比べると、受講者が「集合しない」点が異なります。「いつでもどこでも受講できる」ということで、後述のスモールラーニングも含め、「オンデマンド（コンテンツ）」と呼ばれる場合もありまう。

スモールラーニング：Eラーニングの1形式で、5分程度の内容をネット上で小刻みに学ぶ方式です。

以下にオンライン研修の12のメリットを述べます。

1 受講者の理解度や意見の見える化が容易

受講生が理解度・質問・疑問などをチャットに書き込むことによって、簡単かつ素早く見える化できます。それにより、受講生同士の学びの共有も行いやすい。また、ディスカッションの内容をとりまとめたパワーポイントやホワイトボードの内容も、デジタルとして保存することで、受講者へデータ配布することも容易になります。

2 受講者同士の学びが高まる

チャット機能を活用することにより、他の受講者の意見や理解を得ることが容易にできます。また、ロールプレイなどを実施することで、講師や多くの受講者からフィードバックを得ることが出来る為、学びを高めることができます。

3 遠距離でもチームビルディングできる

なかなか顔を合わせる機会が持てない遠距離の受講者同士が、すぐに顔を合わせて交流することができます。昼休み、時によっては終了後のオンライン飲み会等、ネットワーキングの時間を作ることも有効です。その際、普段あまり顔を合わさない受講者同士のブレイクアウトルーム（班に分かれた活動）を作るのもよいだろう。

4 テクノロジー活用により「平等」が生まれる

リアルの中では遠慮しがちな受講者も、意見が言いやすいので、声の大きい人に遠慮する必要もない。チャットを使いアウトプットの機会が全員に平等に与えられる。

5 「書く」ことへの抵抗がない

リアル研修では、ポストイットやフリップチャートなどに書き込む際に、「字が下手」「漢字が分からない」等の障壁を感じる人がいますが、

自の上手い下手にこだわらないというルールを定めておけば、リモートでは気にならず、「書くこと」に対する心理的バリアが低くなります。

6 交通費や宿泊費を節約できる

全国に受講者が散らばる場合でも、リモート研修ならスケジュール調整や交通費や宿泊費等の負担が発生しません。

7 研修のスケジュールリングが容易

研修会場や部屋を予約する必要があるため、リアル研修の様に会場ありきでスケジュールリングする必要性がなく、日程設定が容易になります。また、半日×2セッションなど、研修を分けて設定することも可能です。

8 受講者ひとりひとりに目が届く

研修中、カメラがオンになっていれば、講師や事務局が受講生の表情をクリアに観察することができ、リアル研修より受講者の非言語メッセージを得やすくなります。

9 受講者の緊張や集中を維持できる

カメラをオンにしたり、受講者に対して適切なタイミングでチャットへの書き込みをリクエストすることで、受講者の集中をつなげることができます。「いつチャットへの書き込みを指示されるかわからない」という緊張感が、講師の話をしっかりと聴くことにつながります。

10 より臨場感のあるロールプレイが可能に

ロールプレイする際には、全員に見られていることによる緊張感を維持するとともに、カメラに自分の様子が映し出されるので、客観的視点を持ちながらロールプレイを行うことができます。



1 1 グループディスカッションのサポートも可能

ブレイクアウトという機能を使えばグループワークやグループディスカッションを行う事ができます。正に班ごとに分かれたワークを集合研修と同じように行えるのです。

1 2 短時間で集中して学習できる

リモート研修自体は短時間で行うことができます。また、「研修は終日やらなければ」といった従来のスケジュールに固執する必要がないのです。

以上、最近急速に増えているリモート研修のメリットをまとめてみました。皆さんの会社ではいかがでしょうか？

それでは、2020年7月15日号にてお会いしましょう。